

第一級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の免許人は、無線設備の変更の工事をしようとするときは、総務省令で定める場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 あらかじめ総務大臣にその旨を届け出る。
- 2 あらかじめ総務大臣の許可を受ける。
- 3 総務大臣に無線設備の変更の工事の予定期日を届け出る。
- 4 あらかじめ総務大臣の指示を受ける。

〔4〕 無線局の免許人が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣が行うことができる処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 期間を定めて行う電波の型式の制限
- 2 期間を定めて行う空中線電力の制限
- 3 期間を定めて行う通信の相手方又は通信事項の制限
- 4 再免許の拒否

〔2〕 次の記述は、船舶に施設する無線設備について述べたものである。無線設備規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

船舶の航海船橋に通常設置する無線設備には、その筐体（かぶた）の見やすい箇所に、当該設備の発する磁界が に障害を与えない最小の距離を明示しなければならない。

- 1 他の電氣的設備の機能
- 2 自動レーダープロットング機能
- 3 磁気羅針儀の機能
- 4 自動操舵装置の機能

〔5〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局が免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
- 2 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるとき。
- 3 無線局の発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えていると認めるとき。
- 4 無線局が暗語を使用して通信を行っていると認めるとき。

〔3〕 次の記述は、第一級海上特殊無線技士の資格を有する者が行うことができる無線設備の操作の範囲を述べたものである。電波法施行令の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

船舶局の空中線電力 の無線電話及びデジタル選択呼出装置で25,010kHz以上の周波数の電波を使用するものの通信操作（国際電気通信業務の通信のための通信操作を除く。）及びこれらの無線設備（多重無線設備を除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作

- 1 20ワット以下
- 2 50ワット以下
- 3 10ワット以下
- 4 30ワット以下

〔6〕 船舶局の免許状は、掲示を困難とするものを除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
- 2 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 3 航海船橋の適宜な箇所
- 4 船内の適宜な箇所

第一級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 無線局を運用する場合においては、遭難通信を行う場合を除き、空中線電力は、どれによらなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 無線局の免許の申請書に記載したもの
- 2 通信の相手方となる無線局が要求するもの
- 3 免許状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最小のもの
- 4 免許状に記載されたものの範囲内で通信を行うため必要最大のもの

〔8〕 無線局は、無線機器の試験又は調整のため電波の発射を必要とするときは、電波を発射する前にどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 発射しようとする電波の空中線電力が十分であることを確かめる。
- 2 自局の発射しようとする電波の周波数及びその他必要と認める周波数によって聴守し、他の無線局の通信に混信を与えないことを確かめる。
- 3 発射しようとする電波の周波数をあらかじめ測定する。
- 4 自局の発射しようとする電波の周波数に隣接する周波数において他の無線局が重要な通信を行っていないことを確かめる。

〔9〕 次の記述は、海上移動業務の無線局の無線電話通信における応答事項を掲げたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- | | |
|------------|----------------------|
| ① 相手局の呼出名称 | 3回以下 |
| ② こちらは | 1回 |
| ③ 自局の呼出名称 | <input type="text"/> |

- 1 1回
- 2 2回以下
- 3 3回
- 4 3回以下

〔10〕 船舶が遭難した場合に、船舶局がデジタル選択呼出装置を使用して超短波帯（156MHzを超え157.45MHz以下の周波数帯をいう。）の電波で送信する遭難警報は、どの周波数を使用して行うか。次のうちから選べ。

- 1 156.525MHz
- 2 156.8MHz
- 3 156.3MHz
- 4 156.65MHz

〔11〕 船舶局が無線電話通信において遭難通報を送信する場合の送信事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 「メーデー」又は「遭難」
- 2 遭難した船舶の名称又は識別
- 3 遭難した船舶の乗客及び乗組員の氏名
- 4 遭難した船舶の位置、遭難の種類及び状況並びに必要とする救助の種類その他救助のため必要な事項

〔12〕 次の記述は、遭難の呼出し及び通報について述べたものである。国際電気通信連合憲章の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線通信の局は、遭難の呼出し及び通報を、、絶対的優先順位において受信し、同様にこの通報に応答し、及び直ちに必要な措置をとる義務を負う。

- 1 いずれから発せられたかを問わず
- 2 自国の領海で発せられた場合には
- 3 公海で発せられた場合には
- 4 自国の領海及び公海で発せられた場合には